

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-1 2000.1.2	2000年、世界に向けて私たちのできること ～21世紀の国際協力を考える～	藤田公郎総裁と山本一太外務省政務次官との新春対談の様様	国内	日本	日	総合
地-2 2000.1.9	青年海外協力隊のいま	青年海外協力隊の活動（アフリカ編）	アフリカ	総合	日	協力隊
地-3 2000.1.16	あざやかなシニアたち	シニアボランティアの活動	総合	総合	日	シニア海外ボランティア
地-4 2000.1.23	21世紀の地球のために ～JICAの環境協力の課題と挑戦～	環境分野の活動の紹介（ゴミ問題）	中南米	ホンジュラス	日	プロジェクト環境
地-5 2000.1.30	いちゃりば兄弟 ～沖縄国際センターの活動～	JICA沖縄国際センター事業紹介	国内	日本	日	JICA沖縄国内事業
地-6 2000.2.6	技術と文化の架け橋	専門家事業の紹介（ラオス）	アジア	ラオス	日	専門家
地-7 2000.2.13	中国地方発・国際協力の海へ	JICA中国国際センター事業紹介	国内	日本	日	JICA中国国内事業
地-8 2000.2.20	海を越えてもう1つの人生を	インドネシアシニアボランティアの活動	アジア	インドネシア	日	シニア海外ボランティア
地-9 2000.2.27	中村メイコ・神津カンナ ブラジルに行く	中村メイコ・神津カンナ移住地視察の様様	中南米	ブラジル	日	有識者移住事業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-10 2000. 3. 5	子供達の明日を見つめて For the Future of Children~ Philippines~	フィリピン協力隊員の活動（保健婦）	アジア	フィリピン	日	協力隊 保健医療
地-11 2000. 3. 12	地球の声に応えるために ~みどりの国際協力~	ブラジル森林プロジェクト	中南米	ブラジル	日	専門家 環境
地-12 2000. 3. 19	マラリアと闘う ~フィリピン最後の秘境 パラワン島~	フィリピンマラリア対策専門家の活動	アジア	フィリピン	日	専門家 保健医療
地-13 2000. 3. 26	平和構築とJICAの取り組み JICA Cooperation for Peace building	平和構築活動（緊急・人道援助、復興援助、開発援助について）	総合	総合	日	平和構築
地-14 2000. 4. 2	国民参加型援助 日本の経験を途上国へ	「国際協力の日」記念国際シンポジウムの模様	国内	日本	日	国内事業
地-15 2000. 4. 9	地域に根ざした医療援助を ~ザンビアプライマリヘルスケアプログラム~	ザンビアでのプライマリヘルスケアプログラム	アフリカ	ザンビア	日	専門家 協力隊 保健医療
地-16 2000. 4. 16	バックマイ病院プロジェクト	ヴェトナム・バックマイ病院プロジェクトで活躍する専門家の様子を紹介	アジア	ベトナム	日	プロジェクト 専門家 保健医療
地-17 2000. 4. 23	あなたの経験が世界をつくる シニア海外ボランティア Senior Overseas Volunteer in Thailand	タイで農産物加工品の生産向上に取り組むシニア海外ボランティアの活動を紹介	アジア	タイ	日	シニア 農業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-18 2000. 4. 30	フエ市児童福祉総合支援 ～JICAとNGOの協力～	ベトナムで活動するNGOにJICAが協力する開発福祉支援事業を紹介	アジア	ベトナム	日	JICA・NGO連携 社会開発
地-19 2000. 5. 7	農業の明日を支える ～フィリピン～	フィリピンの農業分野で技術支援している専門家と協力隊員の活動	アジア	フィリピン	日	専門家 協力隊 農業
地-20 2000. 5. 14	エジプトの環境を守る専門家たち Specialists Protecting Egypt's Environment	大気汚染や水質汚濁などの環境問題に取り組む、日本とエジプトの専門家の活動	中近東	エジプト	日	専門家 プロジェクト 環境
地-21 2000. 5. 21	人と人 自然と人 インドネシア	障害者施設で活動する協力隊員と自然環境を守る専門家を紹介	アジア	インドネシア	日	専門家 協力隊 環境 福祉
地-22 2000. 5. 28	この目で確かめるODA ～ODA民間モニター制度～	ODA民間モニター制度。ベトナムチームと中国チームの視察の様子を紹介	アジア	ベトナム 中国	日	ODAモニター
地-23 200. 6. 4	世界の明日のために ～日本の無償資金協力～	日本の無償資金協力について、特に供与額の多いアジア地域、アフリカ地域の案件を紹介	アジア アフリカ	総合	日	無償資金協力
地-24 2000. 6. 11	紅海を守る サウジアラビア ～沿岸1000kmの調査記録～ Preserving the Red Sea ~Saudi Arabia～	紅海沿岸の生物環境を守るための調査を実施した時の記録	中近東	サウジアラビ ア	日	無償資金協力 環境

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-25 2000. 6. 18	海を越えた柔道家 ～シドニーオリンピックへの夢～ A Judoka Who Went Overseas ～Dreams for the Sydney Olympic Games～	オリンピック出場を決めた柔道選手。彼らを支えるシニア海外ボランティアや協力隊員の活動模様	アジア	インドネシア	日	シニア海外 ボランティア 協力隊 スポーツ
地-26 2000. 6. 25	洪水の傷跡に戻った笑顔 ～モザンビーク医療チーム～	モザンビークに派遣された国際緊急援助隊医療チームの一日の活動の流れを通して紹介	アフリカ	モザンビーク	日	緊援隊 保健医療
地-27 2000. 7. 2	海を渡ったKO-BAN	市民に身近な日本の交番制度がエル・サルバドルにも導入された模様を紹介	中南米	エルサルバドル	日	技術協力
地-28 2000. 7. 9	地震災害救済二週間の活動報告 ～インドネシア医療チーム～ Report on Two-week Rescue Activities by the Medical Team in Indonesia	インドネシアで発生した大地震。被災者の救済に迅速に対応した緊急援助隊医療チームの活動模様を紹介	アジア	インドネシア	日	緊援隊 保健医療
地-29 2000. 7. 16	世界で一番新しい国～東チモール～ East Timor: The World's Youngest Nation	東チモールの現状をJICAディリ事務所で働くナショナルスタッフのインタビューを交えて紹介	アジア	東チモール	日	JICA 在外事務所 紹介
地-30 2000. 7. 23	実りある消防国際協力のために ～北京消防訓練センタープロジェクト～	日本の消防制度が活かされつつある中国。プロジェクト方式の技術協力では初めて実施された消防分野の協力を紹介	アジア	中国	日	プロジェクト

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-31 2000. 7. 30	国際協力の輪を広げる ～国際協力推進員の現在～ Stretching Ties of International Cooperation : the Present Status of International Cooperation Promoters	国内各地で国際協力に対する理解の 普及や開発教育支援の最前線で活躍 する「国際協力推進員」について紹 介	国内	日本	日	国際協力 推進員 国内事業
地-32 2000. 8. 6	農業専門家の見た東チモール East Timor as seen by Agricultural Specialists	農業専門家として東チモールに渡っ た専門家が、この国の農業や市場の 様子を紹介	アジア	東チモール	日	専門家 農業
地-33 2000. 8. 13	獲る漁業から造り育てる漁業へ ～チリ貝類増養殖開発計画～ Aquaculture Project in Chile	チリの貝類養殖の分野で、地元漁民 とともに育てる漁業を追求している 日本人専門家の活動を紹介	中南米	チリ	日	専門家 水産
地-34 2000. 8. 20	ケニア難民キャンプからの報告 Report from a refugee camp in Kenya	平和構築研究の一環として、ケニア の難民キャンプを視察したJICA調査 団のキャンプの現状についての報告	アフリカ	ケニア	日	専門家 平和構築
地-35 2000. 8. 27	ネパールにおける活動の記録 1992-97 ～学校・地域保健プロジェクト～ Recording Activities in Nepal 1 School and Community Health Project	92年に始まったネパールでの保健プ ロジェクト。その初期の段階から97 年までの活動記録を専門家のコメン トを交えて紹介	アジア	ネパール	日	専門家 保健医療

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-36 2000. 9. 3	湿原を守るために～釧路湿地保全研修 Protecting The Wetland～ Kushiro wetlands conservation training program	北海道国際センター（帯広）で実施されている研修コースにて、湿地保全の大切さを海外へ伝えるコースリーダーの熱心な活動を、釧路湿原の豊かな自然環境の風景とともに紹介	国内	日本	日	研修員 国内事業 環境
地-37 2000. 9. 10	和平復興にむけて ～カンボジア・ボスニアヘルツェゴビナ・ 東チモールからの報告～ In pursuit for peace and reconstruction	内戦からの復興を目指すカンボジア、ボスニア、東チモールに対する日本のODAの協力を、調査団の報告を交えて紹介	アジア 欧州	ボスニア カンボジア 東チモール	日	専門家 平和構築
地-38 2000. 9. 17	ネパールにおける活動の記録Ⅱ 1997-2000 ～学校・地域保健プロジェクト～ Recording Activities in Nepal 2 School and Community Health Project	記録第二弾。97年から現在までに、地域住民のコミュニティー活動が活発化した様子を紹介	アジア	ネパール	日	専門家 学校・地域保健 プロジェクト
地-39 2000. 9. 24	砂漠に緑を ～カレゴロ緑の協力推進プロジェクト～	砂漠化が進むニジェール。植林を中心に、緑化活動プロジェクトに関わっている協力隊員の地域を巻き込んだ活動を紹介	アフリカ	ニジェール	日	協力隊 プロジェクト 環境

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-40 2000. 10. 1	タンザニアの農業を支える Supporting Tanzania's Agriculture	タンザニアで、現地の気候に合わせた稲作や伝統的な農法を活かした農業技術の普及を目指している専門家たちの活躍を紹介	アフリカ	タンザニア	日	専門家 農業
地-41 2000. 10. 8	エイズの脅威と闘う ～タイ北部～	エイズによる社会的な影響が深刻なタイ北部。エイズ感染者に対する医療及び社会的な支援を行う人々の活動状況を紹介	アジア	タイ	日	専門家 保健医療
地-42 2000. 10. 15	インドネシア水産業の明日を築く	インドネシアのバリ島で、魚類種苗生産に携わる活動をしている専門家を紹介	アジア	インドネシア	日	専門家 水産 プロジェクト
地-43 2000. 10. 22	国際協力の現場で ～インターンシッププログラム～	大学院生を対象におこなわれているインターンシッププログラム。ボリビアの農業総合試験場での実習の様子を紹介	国内	日本	日	研修員 農業インターン プログラム
地-44 2000. 10. 29	40歳からの新たなる挑戦 ～シニア海外ボランティア～ New challenges after 40: Senior Volunteers	シニア海外ボランティアをタイ及びインドネシアでの具体的な活動から紹介し、広く一般の方に分かりやすい形で伝えて理解してもらう	アジア	タイ インドネシア	日	シニア ボランティア
地-45 2000. 11. 5	牛にお灸 ～今、ネパールで注目！～	ネパールでシヴァ神の乗り物として大切にされている牛。その牛の繁殖障害を「お灸」で治療している専門家の活動を、農家の人々の喜びの声とともに紹介	アジア	ネパール	日	専門家 農業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-46 2000.11.12	シリアの養護施設を訪ねて Visiting a Protective Institution in Syria	シリアの養護施設で活動している青年海外協力隊員を紹介。この隊員が、障害児で孤児の子供たちに対して心のこもった活躍を行った模様を紹介	中近東	シリア	日	協力隊 福祉
地-47 2000.11.19	地域に広がり、世界につながれ ～多彩な国際協力イベント～	10月6日「国際協力の日」に開催された「国際協力フェスティバル」の様子を紹介。北陸・中国・九州・沖縄それぞれのイベントの様子を通じ、地域に根差したJICAの活動を紹介	国内	日本	日	国内事業 イベント
地-48 2000.11.26	フィリピンに飲める水を！ ～情熱と誇りの水道技術者～ Drinkable Water for the Philippines	「みんなが安心して飲むことができる水を供給したい」という思いで、フィリピンの各地に足を運び、現場での上水道整備・運営の指導、啓蒙活動を行っている専門家を紹介	アジア	フィリピン	日	専門家 環境
地-49 2000.12.3	ヨルダンで活躍する シニア海外ボランティア Senior Overseas Volunteer active in Jordan	冶金工学をヨルダンの大学で教える濱崎シニア海外ボランティアの活動を紹介	中近東	ヨルダン	日	シニア海外 ボランティア
地-50 2000.12.10	セネガルから見た日本の援助活動 Japanese Development Assistance Seen From Senegal	セネガルの国営テレビ局（RTS）がセネガルに置けるODAの現場を取材。同局で放映された番組を再編集し、セネガルの人から見た日本の国際協力を伝える	アフリカ	セネガル	日	協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-51 2000.12.17	ネパールシルクへの夢 Dream to Nepales silk	ネパールの養蚕業を大きく発展させるために、現地の人々とともに精力的な活動を行っている専門家を紹介	アジア	ネパール	日	専門家 農業
地-52 2000.12.24	ヨルダンの地中に消える水 Water that disappears into the ground of Jordan	世界でも有数の水貧国であるヨルダン。深刻な水問題に取り組む不明水対策の専門家の活動を紹介	中近東	ヨルダン	日	専門家 環境・水問題
地-53 2000.12.31	21世紀にむけて ～2000年JICA REPORT総集編～ Toward the 21 century. Highlights from the 2000 JICA Reports	2000年1月から始まった「地球家族」 52回放映分の総集編	総合	総合	日	総合
地-54 2001.1.7	世紀を超えて、国境を越えて ～斉藤邦彦JICA総裁に聞く～	斉藤総裁に、国際協力やJICAの向かうべき姿をインタビューした時の記録を収録	総合	総合	日	総合
地-55 2001.1.14	水俣病の教訓を世界へ ～水俣市役所奮闘記～	環境破壊が進む世界に向けて、「水俣市はもっと警鐘をならす義務がある」と考える水俣市長自らが研修の講師となり、水俣の経験を研修員へ伝える	国内	日本	日	国内事業 環境
地-56 2001.1.21	シリアで活躍する漏水防止専門家	「なぜ、漏水対策が必要なのか」という原点の大切さをシリアの方々に伝えつつ、実際の漏水対策技術の指導を行っている専門家の活動を紹介	中近東	シリア	日	専門家 環境

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-57 2001. 1. 28	パナマに広がる森林の恵み	林野庁から、パナマの森林保全プロジェクトのチーフリーダーとして派遣された高野憲一さんの活動を紹介	中南米	パナマ	日	専門家 環境
地-58 2001. 2. 11	あなたは西岡京治を知っていますか ～ブータンに愛された日本人～	ブータン農業を28年にもわたって指導してきた日本人。長年にわたる農業指導をたたえられ、国王に「最高の人」という意味のダショーの称号を送られた故西岡専門家の活動を紹介	アジア	ブータン	日	専門家 農業
地-59 2001. 2. 18	町に水が来た日 ～東チモールにおける緊急復興支援～	2000年2月、東チモールで、水供給に関する調査と緊急工事が行われた。この模様を関係者などのインタビューを交えて約1年間の記録した映像	アジア	東チモール	日	専門家
地-60 2001. 2. 25	大地震の爪跡を救った温かい手 ～エルサルバドル医療チーム～	中米エルサルバドルにて発生したM7.6の大地震。地震直後に派遣された国際緊急援助隊医療チームと、現地で医療チームのサポートにあたった派遣中の青年海外協力隊員の活躍を報告	中南米	エルサルバドル	日	緊援隊 協力隊 保健医療
地-61 2001. 3. 4	地域に根差した医療システムを ～ケニア国地域保健医療システム強化計画調査～	ケニアで行われた地域保健医療システムを改善するための調査。その調査に関わった調査チームの方のインタビューを中心に、ケニアの保健医療システムの現状を紹介	アフリカ	ケニア	日	専門家 保健医療

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-62 2001. 3. 11	ペルー発 世界に通用するデザインを	ペルーに4ヶ月間派遣された衣料縫製分野専門家の活動によって、小規模企業や零細企業が作る衣料製品の品質が向上。その活動をペルーの人々のインタビューを交えて紹介	中南米	ペルー	日	専門家
地-63 2001. 3. 18	地球からポリオをなくす ラオスでのポリオ根絶運動	2000年10月29日「西太平洋地域ポリオ根絶京都会議」で、西太平洋地域のポリオの根絶が宣言された。子供達の未来のために、ラオスでポリオ根絶に力を注ぎ続けてきたプロジェクトの専門家を紹介	アジア	ラオス	日	専門家 保健医療
地-64 2001. 3. 25	命を救う ～インド地震災害救済国際緊急援助隊～	インド西部の大地震発生後、インドに派遣された緊急援助隊の活躍ぶりを、インタビューを交えて報告	アジア	インド	日	緊援隊 保健医療
地-65 2001. 4. 1	国境を越えたSurimi～ウルグアイ シニアボランティア	ウルグアイでは、健康ブームで食文化にも変化が見られる。魚料理の需要が高まりつつある中、どのように水産加工品をつくっていくかを指導しているシニア海外ボランティアの活動を紹介	中南米	ウルグアイ	日	シニア 水産
地-66 2001. 4. 8	絶滅危機のアイアイを救え！ ～マダガスカル・動物の保護繁殖 交流～	貴重な固有種であるアイアイ。マダガスカルのチンバザザ動植物公園に配属され、この人工繁殖を成功させた日本人専門家の活動を紹介	アフリカ	マダガスカル	日	専門家 環境保護

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-67 2001. 4. 15	Projeto Luz～光のプロジェクト～ ブラジル家族計画・母子保健	ブラジルでは出産することをdar a Luz（光に与える、光の中にもたらす）と表現する。「光のプロジェクト」では、出産のヒューマニゼーションを目指して精力的に活動する専門家たちを紹介	中南米	ブラジル	日	専門家 保健医療 プロジェクト
地-68 2001. 4. 22	がんばれ卓球部 ～チュニジア・青年海外協力隊 Let's go, Table Tennis Club! JOCV in Tunisia	青年海外協力隊の卓球隊員としてチュニジアに赴任し、2年間でチームを一から建て直した隊員の活動と、卓球チームの奮闘ぶりを紹介	中近東	チュニジア	日	協力隊 スポーツ
地-69 2001. 4. 29	世界を学ぶ旅へ～中学生エッセイ コンテスト マレーシア研修旅行 Go and See the world, Junior High School Essay Contest	中学生エッセイコンテストの総裁賞受賞者が、研修旅行でマレーシアを訪問。旅の過程での発見や学び、マレーシアの人々との出会いのレポートを紹介	アジア	マレーシア	日	国内事業
地-70 2001. 5. 6	ミャンマーのそば Myanmar Soba	「黄金の三角地帯」の芥子畑をそば畑にする計画。ミャンマーのそばづくり指導に情熱を傾け続ける専門家の活動を紹介	アジア	ミャンマー	日	専門家 農業
地-71 2001. 5. 13	インドに生きる日本の養蚕技術 Japanese Technology in Indian Sericulture	インドの養蚕技術の向上をめざしたJICAプロジェクト。このメンバーだった6名の専門家たちの活躍により、品質が向上したインドの生糸を紹介	アジア	インド	日	専門家 農業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-72 2001. 5. 20	民間企業が行う国際協力 ～JICAの開発投融資事業～ International Cooperation by the Private Sector～JICA support for foreign investment	JICAからの融資と技術支援を受け、 日本企業が、ブラジルでワイン用の ブドウを栽培している様子や、パラ グアイで姫マツタケを栽培している 模様を紹介	中南米	ブラジル パラグアイ	日	投融資 農業
地-73 2001. 6. 3	ウガンダの未来に向けて ～ナカワ職業訓練校～ For a bright future in Uganda NAKAWA Vocational Training Institute	1971年に日本の協力を得て設立さ れ、国内トップクラスになったウガ ンダのナカワ職業訓練校。人材を育 て、ウガンダの経済発展に貢献しよ うと努力を続けるナカワ職業訓練校 を紹介	アフリカ	ウガンダ	日	プロジェクト 開発
地-74 2001. 6. 10	紅海のサンゴ礁を守るシニアボラ ンティア Senior Overseas Volunteer For conservation of coral reefs in the Red Sea	紅海北端に位置するアカバ湾の美し い海洋環境を守るために、シニア海 外ボランティアが、同国の海の美し さをヨルダン人に伝え、環境保全 の必要性を伝え続けた活動を紹介	中近東	ヨルダン	日	シニア 環境
地-75 2001. 6. 17	明日への架け橋～パラグアイ経済 開発調査 Bridge for Tomorrow The Study in the Economic Development of the Republic of Paraguay	南米の中でも最も所得水準の低い国 の1つパラグアイ。この国の経済を 立て直すため、経済開発調査が実施 された。その最終報告会の様子と今 後のパラグアイ政府の取り組みを紹 介	中南米	パラグアイ	日	専門家 経済開発プロジェク ト

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-76 2001. 6. 24	美しい山 美しい川 美しい森 ～加藤登紀子国連環境計画親善大使～ Beautiful Mountains, Beautiful Rivers, Beautiful Forests	平成12年10月30日に日本人として初めて、国連環境計画（UNEP）の親善大使に任命された歌手の加藤登紀子さん。同氏が、インドネシアの生物多様性保全計画プロジェクトを訪問した模様を紹介	アジア	インドネシア	日	有識者 環境
地-77 2001. 7. 1	チリにサケが戻った日 The Day Salmon Returned to Chile	チリ産のサケを育てることに情熱を燃やし続けた長沢有晃専門家。そして、その活動を支えた故白石専門家の物語	中南米	チリ	日	専門家 水産 プロジェクト
地-78 2001. 7. 8	ITが未来をかえる ～ポーランド日本情報工科大学プロジェクト～ Polish-Japanese Institute of Information Technology Project	2001年3月に終了したポーランド日本情報工科大学プロジェクト。このプロジェクトは、ポーランドの情報技術の人材育成に大変貢献した。その模様を紹介	欧州	ポーランド	日	プロジェクト 教育
地-79 2001. 7. 15	鯉に託したパプア・ニューギニア発展の夢 Carp, bringing a bright future to Papua New Guinea	パプア・ニューギニアでは、タンパク源供給のため、鯉の養殖技術が導入された。この養殖産業は、経済発展の期待を背負い大きな関心を集めた。その模様を紹介	大洋州	パプアニューギニア	日	専門家 水産 プロジェクト
地-80 2001. 7. 22	草の根レベルの活動を ～ザンビアで活躍する青年海外協力隊～ Grassroots Activities -JOCV in Zambia-	ザンビアでは、青年海外協力隊の派遣が30周年を迎えた。多岐の分野で、ザンビアの人々と共に活動する青年海外協力隊員の活躍ぶりを紹介	アフリカ	ザンビア	日	協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-81 2001. 7. 29	国際協力の最前線で ～エジプトで情熱を燃やす若者たち～ In the forefront of International Cooperation	エジプトでは多くの青年海外協力隊員が活躍している。自動車整備、保健婦、幼稚園教諭の3名を中心に、エジプトでの活動ぶりをご紹介	中近東	エジプト	日	協力隊
地-82 2001. 8. 5	国際協力の最前線で～エジプトの課題に取り組む様々なプロジェクト～ In the forefront of International Cooperation - Various projects for solving problems in Egypt	エジプトでは、現在5つのプロジェクト方式技術協力が実施されています。様々な分野で活躍する専門家たちの様子をご紹介	中近東	エジプト	日	専門家 プロジェクト
地-83 2001. 8. 12	創造力と技術力への挑戦 ～インドネシア電気系ポリテクニク教員養成計画～ Challenging greater creativity and higher technology	インドネシア・スラバヤ電子工学ポリテクニクは、派遣中の専門家の呼び掛けで出場したロボットコンテスト世界大会で見事優勝。この実践型の技術協力を目指すプロジェクトの様子を紹介	アジア	インドネシア	日	専門家 プロジェクト 教育
地-84 2001. 8. 19	和の心を伝えて ～チリで活躍するシニア海外ボランティア～ Introducing the Japanese spirit	チリではまだメジャーなスポーツではない剣道を指導するため、一人のシニア海外ボランティアが赴任。シニア海外ボランティアが、剣道の普及し活躍する様子を紹介	中南米	チリ	日	シニア スポーツ
地-85 2001. 8. 26	20歳からのチャレンジ Challenge from the age of 20 ～JOCV activities across the world	地球家族では、これまで多くの青年海外協力隊員の特集を実施。今回は、それらを取りまとめ、世界中で活躍する隊員をダイジェストで紹介	総合	総合	日	協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-86 2001.9.2	エコ・ツーリズム インドネシア生物多様性保全計画 Eco-Tourism~Indonesia Biodiversity Conservation Project~	インドネシアで活動している生物多様性保全計画プロジェクト。国立公園レンジャー達にエコ・ツーリズムのセミナーを実施。熱帯林の自然を守ることを説明するエコ・ツアーの大切さを伝えた模様を紹介	アジア	インドネシア	日	プロジェクト 環境
地-87 2001.9.9	欠 番					
地-88 2001.9.16	世界の人々に安全な水を Drinkable Water for the People in the World	安全な水が手に入らず、苦しんでいる人々が多くいる。世界各地で水問題解決に取り組む専門家たちの活動を紹介	アジア 中近東	フィリピン 東チモール ヨルダン シリア	日	専門家 環境
地-89 2001.9.23	チャレンジ パプア・ニューギニア青年海外協力隊 Challenge!! -JOCV in Papua New Guinea-	パプアニューギニアで活動する青年海外協力隊員（バレーボール・理数科教師・システムエンジニア・薬剤師）を紹介	大洋州	パプアニュー ギニア	日	協力隊
地-90 2001.9.30	感染症をなくせ Toward Worldwide Eradication of Infectious Diseases	アジア地域で、JICAが取り組んでいる感染症対策の事例（ラオスのポリオ対策、フィリピンのマラリア対策、タイのエイズ対策）を紹介	アジア	ラオス フィリピン タイ	日	プロジェクト 保健医療
地-91 2001.10.7	写真家沼田早苗のウズベキスタン 訪問記 Travelogue of Uzbekistan Photographer Sanae Numata	Yomiuri Weeklyの表紙写真など人物写真で高い評価を得ている写真家の沼田早苗さんがウズベキスタンを訪問。沼田さんが写すウズベキスタンと、そこで活躍する青年海外協力隊員の活動を紹介	アジア	ウズベキスタ ン	日	有識者 協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-92 2001.10.14	トルコ北西部地震から2年 ～市民社会の構築に向けて～ 2 Years since the Northwestern Turkey Earthquake ~Toward Civil Society Building	1999年にトルコ北西部を襲った大地 震。歴史ある町を破壊し、1万6千人 を超える人々の命を奪った。復興へ 向けて歩んでいるトルコに対し、地 震国である日本の様々な協力を紹介	中近東	トルコ	日	国際緊急 援助隊
地-93 2001.10.21	自分の将来のために ～シリントン青少年職業訓練セン ター～ For the Future of Children Sirindhorn Vocational Training Center in Thailand	タイにおけるモデル矯正教育を目指 す 「シリントン青少年職業訓練セン ター」での、タイ人と日本人の活動 の様相を紹介	アジア	インドネシア	日	専門家 プロジェクト
地-94 2001.10.28	ベトナム競泳界の未来を築く Spreading Strong Swimming in Viet Nam	ベトナムホーチミンで、世界に通用 する競泳選手育成のため、練習方法 を工夫しながら活動する青年海外協 力隊員と、選手たちの様子を紹介	アジア	ベトナム	日	協力隊 スポーツ
地-95 2001.11.4	写真家沼田早苗のキルギス訪問記	写真家の沼田早苗さんがウズベキス タンに続いてキルギスを訪問。沼田 さんが撮影した現地の青年海外協力 隊員の活動を、テレビ写真展の形で 紹介	アジア	キルギス	日	有識者 協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-96 2001.11.11	南太平洋で過ごした夏 ～サモア国立大学夏期講座～ A Summer in the South Pacific Summer course at the National University of Samoa	1998年に無償資金協力によって建設されたサモア国立大学新校舎で、日本の大学生を対象に夏期研修講座が開催。学長顧問を勤める原専門家がパイプ役となり今回学生達へ貴重な機会の模様を紹介	大洋州	サモア	日	専門家 教育
地-97 2001.11.18	テニスは国境を越えて Tennis, crossing the border Kimiko Date at Kids Tennis in Viet Nam	JICA協力案件「ヴィエトナム日本人材センター」の交流事業、元テニスプレイヤーの伊達公子さんの子供向けテニス教室「キッズテニス」を紹介	アジア	ベトナム	日	有識者 協力隊 スポーツ
地-98 2001.11.25	水が来た！村が変わる インドネシア・スンバ島の揚水計画 Drinkable Water Pumping System in Sumba, Indonesia	生活に必要な水の確保のために、住民参加型の開発福祉支援事業を行っているインドネシアのスンバ島・カマンガ村の様子を追う。水を中心に変化していく村の人々の様子を紹介	アジア	インドネシア	日	専門家 プロジェクト 環境 開発
地-99 2001.12.2	ケニアの野生を映像 Filming Wildlife in Kenya	ケニアの環境保全を行っている、ケニア野生生物公社（KWS）の活動の様子を追う。KWSスタッフとともに活動する視聴覚専門家や青年海外協力隊員の姿を、KWSが作成したVTRを織り交えて紹介	アフリカ	ケニア	日	協力隊 専門家 環境
地-100 2001.12.9	スリランカの音楽教育発展のために For the Development of the Music Education in Sri Lanka	スリランカの音楽教育の普及のために派遣された青年海外協力隊員。持ち前の熱意で壁を乗り越え、音楽の持つ不思議な「力」をスリランカの人々へ伝えていく様子を紹介	アジア	スリランカ	日	協力隊 音楽

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-101 2001. 12. 16	『地球を救え！』～国際緊急援助隊～ Save the World! The Japan Disaster Relief Team	これまで地球家族では国際緊急援助隊の活動を幾度に渡り紹介。今回は今までの国際緊急援助隊の活動をダイジェスト版	総合	総合	日	国際緊急援助隊
地-102 2001. 12. 23	マラウイの大地に根ざせ ～ロビ園芸適正普及プログラム～ Taking Root in the Soil of Malawi: The Project for Expansion of Reliable Agricultural Technologies in Lobi	青年海外協力隊員がマラウイへチームで派遣され、現地の農業普及員と協力して野菜や病害虫などの分野で園芸技術の普及を行う。ロビ園芸適正技術普及プロジェクトの活動の様子を紹介	アフリカ	マラウイ	日	協力隊農業
地-103 2001. 12. 30	住民の手による地域開発を ～世界に広がる参加型地域社会開発～ Revitalization of Society～ Worldwide Participatory Social Development	日本福祉大学の濱助教授の提唱する、住民を主体とする社会開発のあり方を考える概念「参加型地域社会開発（PLSD）」の研修風景を紹介	国内	日本	日	研修員開発
地-104 2002. 1. 6	「総裁対談」 ～混迷する世界情勢の中で～ In the Midst of a confused World Interview with JICA President Takao Kawakami	2002年、川上総裁とフリーキャスターの青山佳世さんとの対談の模様を紹介。世界を大きく揺るがす事件の多かった2001年を振り返り、2002年の世界・JICAについて語る	総合	総合	日	総合

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-105 2002. 1. 13	マラウイの生活向上のために ～在来種増養殖技術開発計画～ For Improving Malawian Lives	アフリカ第3の湖であるマラウイ湖は、固有種が多く、1992年に生態系を崩す原因の一つとなる外来種の導入を禁止した。魚の養殖の発展のために活動する専門家の様子を紹介	アフリカ	マラウイ	日	専門家 水産 プロジェクト
地-106 2002. 1. 20	南アフリカ アパルトヘイトを越える理数科教育	南アフリカのムプマランガ州で現職教員の研修システムの構築を通じて、教材開発、授業方法やカリキュラム改善を行い、学校教育の底上げを目的とした「中等理数科教員再訓練計画」の協力現場を紹介	アフリカ	南アフリカ	日	専門家 教育
地-107 2002. 1. 27	未来の扉に手を掛けて ～JOCV就職物語～	世界各国で現地の人々と共に草の根の活動を続けている青年海外協力隊員。隊員一人ひとり、見知らぬ土地での2年間の経験をどのように受け止めているのか？。彼らの”今”に迫る	国内	日本	日	協力隊
地-108 2002. 2. 3	スポーツを通じた国際協力	世界各国で活躍している青年海外協力隊員とシニア海外ボランティア。スポーツを通じて国際協力を行っている人々に焦点を絞り、彼らの活動の様子を紹介	総合	総合	日	協力隊 シニア海外 ボランティア スポーツ
地-109 2002. 2. 10	ブラジル未開の地を農地へ ～日伯セラード農業開発協力事業～	ポルトガル語で「閉ざされた」という意味を持つ不毛の大地セラード。その不毛地帯が世界の穀倉地帯に変貌。21年にわたり日本とブラジルが協力して農業の限界に挑んだ軌跡	中南米	ブラジル	日	プロジェクト 農業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-110 2002. 2. 17	教育と学習の質の向上 ～ガーナ小中学校理数科教育改善 計画～	不十分な学校設備・教材・また低給 与・無（低）資格教員による子供達 の学力の低さを改善するため、日本 とガーナが共に行っているプロジェ クトの様子を紹介	アフリカ	ガーナ	日	プロジェクト 教育
地-111 2002. 2. 24	ザンビアを襲うエイズ Part-1 ～その脅威～	エイズは不十分な教育、貧困および 社会的なタブー等、様々な原因が絡 み合い、ザンビアでは、その拡大を 続ける。エイズに向き合う専門家や 青年海外協力隊員の姿を紹介	アフリカ	ザンビア	日	専門家 協力隊 保健医療
地-112 2002. 3. 3	ザンビアを襲うエイズ Part-2 ～その闘い～	今も拡大を続けているエイズ。その エイズという病気に対する正しい認 知、理解が最大の予防策。現地のNGO などと協力して行っている啓蒙活動 の様子を紹介	アフリカ	ザンビア	日	専門家 協力隊 保健医療
地-113 2002. 3. 10	スポーツに夢を託して ～活躍するインドネシアスポーツ 隊員～	インドネシアで活躍する4名の青年海 外協力隊員。一人ひとりの国際協力 の「かたち」を、スポーツを通じて 作ろうとしている様子を紹介	アジア	インドネシア	日	協力隊 スポーツ
地-114 2002. 3. 17	母と子を結ぶ手帳 ～インドネシア母と子の健康手帳 プロジェクト～	日本では新しい命の芽生えと共に交 付され、母と子の架け橋となってい る母子手帳。この手帳がインドネシ アでも普及しつつあります。1998年 から行われているプロジェクトの様 子を紹介	アジア	インドネシア	日	プロジェクト 保健医療

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-115 2002. 3. 24	カンボディア 明日に向かって走るバス ～プノンペン都市交通計画プロジェクト～	復興の進むカンボディアの首都プノンペン。発展の陰で、渋滞・交通事故等、深刻な交通問題が顕著化。JICAはその問題を解決するため、総合的な都市交通マスタープラン作成に携った。その様子を紹介	アジア	カンボジア	日	プロジェクト 都市・交通開発
地-116 2002. 3. 31	自分たちの環境を自分たちで変える ～ザンビア 公衆衛生への取り組み～	ザンビアの首都ルサカ市で、自然発生的にできたコンパウンド（低所得者層居住区）で「住民参加」と「地域の自立」を実践している専門家の姿を紹介	アフリカ	ザンビア	日	プロジェクト 保健医療
地-117 2002. 4. 6	エイズと闘う人々	これまでに地球家族でお送りした、エイズ関連の情報を総集編を紹介	総合	総合	日	保健医療
地-118 2002. 4. 13	ネパールに保健医療を！	貧困や識字率の低さに苦しみ、基本的な医療施設にさえ行けない人々が多く存在するネパール。そんなネパールで、保健衛生状況を高めるために活躍する専門家の姿を紹介	アジア	ネパール	日	プロジェクト 保健医療
地-119 2002. 5. 25	東チモールの未来に向かって	平成14年5月20日、世界で一番新しい国として独立を果たした東チモール。国民が安全で平和な生活を取り戻すための「国造り」という長く険しい道のりの一歩。「私たちはそんな手助けができるのか」試行錯誤を繰り返しながら努力を続けている日本人の姿に迫る	アジア	東チモール	日	平和構築

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-120 2002. 6. 29	世界にはばたけ青年海外協力隊	世界中で活躍する青年海外協力隊員。H14年2月現在において、各地で活動している隊員の様子を紹介	総合	総合	日	協力隊
地-121 2002. 7. 6	養鶏による生活向上を目指して	バングラデッシュは急激な人口増加の為、重要なタンパク源は鶏肉と卵が担っています。しかし、養鶏の技術はなかった。日本から基本的な技術衛生管理を指導をして養鶏技術は確立され女性の活躍。その模様を紹介	アジア	バングラデッシュ	日	農業プロジェクト
地-122 2002. 7. 13	技術が人を育てる シニア海外ボランティア	近年、特に注目をあつめている事業の一つであるシニア海外ボランティア。H14年2月現在で、各地で活動しているシニア海外ボランティアの様子を紹介	総合	総合	日	シニア海外ボランティア
地-123 2002. 7. 20	写真が繋ぐレンズの向こうの道の世界	今回で第23回を迎えた「国際協力フォトコンテスト」。JICAが広く一般の方々に開発途上国や国際協力に興味を持っていただくために実施。これまでの入賞作品をご紹介します。また、フォトコンテストについて紹介	国内	日本	日	国内事業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-124 2002. 7. 27	難民問題の解決を目指して	現在、JICAと国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は、協力協定を締結し、お互いの長所を学ぶため、これからの事業の連携を模索するため人事交流を行っている。地球上から難民問題をなくす目的に向けての協力を模索するJICA/UNHCRの取り組みを紹介	国内	日本	日	平和構築
地-125 2002. 8. 3	ウェルカム ニッポン！ ～「青年招聘」日本滞在記～	青年招へい事業は、開発途上国の18～35歳までの青年を日本に招へいし、日本の技術を学んでもらい、相互理解と真の友情を培うために行われている。マレーシアの青年達を追いつながら、青年招へい事業を紹介	国内	日本	日	青年招へい 国内事業
地-126 2002. 8. 10	心と心が触れあう時 研修員受け入れ事業	研修員受け入れ事業は、日本の技術やシステムを学び、自国のために活用してもらう事を目的に行われている。これまで多くの開発途上国の人々が来日し、自国の発展の一翼を担っている。この事業のダイジェスト版を紹介	国内	日本	日	研修員 国内事業
地-127 2002. 8. 17	人と自然との調和を築くために ～インドネシア生物多様性研修～	1995年から、インドネシアの美しく貴重な自然を守るため、生物多様性研修が行われてきた。日本で行われたインドネシア側の担当者の研修の様子を紹介	国内	日本	日	研修員 国内事業 環境

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-128 2002. 8. 24	世界に触れた夏 ～高校生が国際協力で学んだ3日間～	大阪府茨木市にあるJICA大阪国際センター。 そこに、関西地区の16もの高校から64名の高校生が集結。彼らの国際協力を考える催しが行われた。3日間のプログラムで、彼らは何を考え、何を果たしたのか？これからの社会を担う彼らの動きを紹介	国内	日本	日	国内事業
地-129 2002. 8. 31	落ち込んでなんかいられない！ ～フィリピン陶磁器隊員～	原田さんは、陶磁器隊員として、フィリピンで10番目に大きく豊かな自然が残されたボホール島に赴任。英語も通じず慣れない生活の中での原田さんの奮闘ぶりを紹介	アジア	フィリピン	日	協力隊
地-130 2002. 9. 7	結核ゼロを目指して ～フィリピン結核対策プロジェクト～	フィリピンは、今も各地で結核が猛威を振う。JICAは、地元の保健関係者と手を携え、1992年からセブ島を皮切りに直接監視下短期化学療法などを実施。2～3年必要とされていた治療期間を、わずか6か月に短縮。さらに地域を拡大して続くプロジェクトを紹介	アジア	フィリピン	日	プロジェクト 保健医療
地-131 2002. 9. 14	動き出す復興支援 ～アフガニスタン援助再開～	アフガニスタンでは紛争が収束に向かい、ようやく復興の兆しが見えてきた。世界各国が様々な復興援助を行う中、日本も23年ぶりに支援を再開。支援再開後初めて来日したアフガニスタン研修員を紹介	国内	日本	日	研修員 国内事業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-132 2002. 9. 21	大空の安全を守れ！ ～フィリピン管制技術官の技術向上を目指して～	1978年、国連環境計画によりフィリピン・マニラに航空保安大学校が設立。時を経て機材は老朽化し、肝心の実習を行えずにいた。JICAにより5年がかりで実施された機材供与と管制官の技術向上のための育成プロジェクトを紹介	アジア	フィリピン	日	プロジェクト
地-133 2002. 9. 28	国際緊急援助隊救助チーム 総合訓練プログラム	海外で大規模な災害が発生した際、救助活動や医療活動を行う国際緊急援助隊が24時間以内に派遣。この対応をスムーズにまた効果的に行えるよう実施された警察庁、消防庁、海上保安庁から構成される救助チームの訓練の様相を紹介	国内	日本	日	国際緊急援助隊
地-134 2002. 10. 5	フィリピン看護師隊員奮闘記 ～母子保健の充実を目指して～	7000以上の島々に100以上の民族が住むフィリピン。未だに交通が不便な地域もあり保健サービスが行き届かない地域も多く存在。フィリピンのある村々で人々の健康を守る1人の看護師の活動を紹介	アジア	フィリピン	日	協力隊
地-135 2002. 10. 12	世界の頂点を目指せ ～ABUロボットコンテスト～	2001年世界各国の大学チームが手作りロボットを携えて戦うロボットコンテスト世界大会で、インドネシアのスラバヤ電子工学ポリテクニクのチームが優勝。1年を経て、新たにABUアジア・太平洋ロボットコンテストに、再び挑戦する同チームの奮戦を追う	アジア	インドネシア	日	専門家 プロジェクト 教育

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-136 2002. 10. 19	町を恐怖から守れ ～フィリピン・オルモック市洪水 対策事業計画～	1991年、レイテ島にある小さな町オルモックを襲った台風は、死者8000人。10年後、再び同じ規模の台風が襲った。10年がかりで日本とフィリピンの協力で行われた洪水対策事業が実を結び、死者無しであった。この事業の模様を迫る	アジア	フィリピン	日	専門家 環境
地-137 2002. 10. 26	フィリピンへの国際援助	隣国フィリピンへの日本の援助の歴史は古く、1950年代から研修事業や専門家派遣が行われ、65年には青年海外協力隊の第一次隊も派遣。日本からの援助は、インドネシア、中国に次ぎ3位、最大のドナー国である日本のフィリピンへの国際協力をダイジェスト版で紹介	アジア	フィリピン	日	プロジェクト 専門家 協力隊
地-138 2002. 11. 2	母国の発展のために ～無償留学生支援～	無償留学生支援は、開発途上国からの留学生に対して、大学などでの研究やネットワーク作りの機会を提供を目的に、1999年から始まりました。「母国の発展に貢献したい」夢を抱いて来日し、日本の大学で勉強に励む留学生達を追う	国内	日本	日	国際緊急援助隊
地-139 2002. 11. 9	環境教育のプロを育てる	日本最大の湖、琵琶湖を臨む滋賀県に、開発途上国から8名の研修員来日。環境教育の盛んな滋賀県で、途上国の先生に、水を中心とした環境教育の考え方や方法論を学ぶ研修が行われる。環境教育のプロを育てるための研修の模様を追う	国内	日本	日	研修員 国内事業

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-140 2002. 11. 16	絆が未来を開く ～南米での活動から～	南米の国々には、かつて日本から移住した人々の子孫である日系人も多い。長い交流の歴史があり遠くて近い国々。移住した先人達が築いたつながりは、今も大切に引き継がれている。南米で協力を続ける日本人の活動をダイジェスト版で紹介	中南米	総合	日	専門家 協力隊 シニア海外 ボランティア
地-141 2002. 11. 23	Save the Children ～ケニア貧困層の生活改善～	急速な近代化を遂げているケニアでは、所得格差の拡大などにより都市のスラムは広がり、ストリートチルドレンの数は15万人以上を超えた。彼らを更生させたいと、JICAと現地NGOなどとの協力で行われている「貧困層の生活改善」プロジェクトの活動を紹介	アフリカ	ケニア	日	プロジェクト 貧困削減
地-142 2002. 11. 30	駆け抜けろ！ ～車いすマラソン 選手とコーチ の熱き日々～	中米エルサルバドルに赴任した青年海外協力隊員（体育）・岩佐雅恵さんは、障害者スポーツが盛んとはいえないこの国で、選手たちと共に車椅子マラソンの練習を積んだ。2002年10月、「大分国際車いすマラソン」に出場するために来日した岩佐隊員と2人の選手の奮闘を追う	国内	日本	日	協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-143 2002. 12. 7	人類の永き戦い ～ケニア寄生虫症・感染症対策～	アフリカの人々を長年苦しめている寄生虫。近年驚異的な勢いで人々の命を奪っているHIVエイズなどの感染症。これらは、ケニア社会全体を破壊しかねない大問題となっている。JICAとケニア研究者の協力により長年にわたって行われてきた寄生虫症と感染症対策の活動を紹介	アフリカ	ケニア	日	プロジェクト 保健医療
地-144 2002. 12. 14	Save The Children ～ケニア貧困層の生活改善 Part. 2～	ケニアでは経済低迷、民族紛争等により、都市への人口流入を生んでいる。ナイロビのスラムには親の養育放棄や虐待で行き場を失ったストリートチルドレン2万5千人が暮らす。JICAが現地NPOなどと2001年に発足させた「貧困層の生活改善」プロジェクト活動を紹介します。	アフリカ	ケニア	日	プロジェクト 貧困削減
地-145 2002. 12. 21	ケニアの持続的発展を求めて ～ケニア中等理数科教育強化計画～	ケニアでは、2020年までに工業国となる目標を設定。将来を担う若者の理数科学力向上に重点を置く。日本の協力で1999年から5年間、「ケニア中等理数科教育強化計画」プロジェクトが開始。理数科を教えている現職の教師を対象に再研修を行う。この事業を追う	アフリカ	ケニア	日	プロジェクト 教育
地-146 2002. 12. 28	障害者の目から見た障害者支援 ～アジア太平洋障害者センター～	アジア太平洋地域には34億人近い障害者が存在。JICAは、障害者が社会的に弱い立場に置かれる現状を打破しようと、2002年8月、障害者自立支援の拠点「アジア太平洋障害者センター」プロジェクトが立ち上げる。障害者自身が舵とりするシステム造りを紹介	アジア	タイ	日	プロジェクト 障害者支援

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-147 2003. 1. 4	総裁対談 2003年新たに生まれ変わるJICA	フリージャーナリスト青山佳世氏と川上総裁との新春対談の模様を紹介。10月1日の独立行政法人化を控え、JICAはどのように変わっていくのか、変わるべきなのか、川上総裁が自身の言葉で語る	総合	総合	日	総合
地-148 2003. 1. 11	点から面への拡大 ～ガーナ社会開発総合プロジェクト～	度重なるクーデターを乗り越えて経済成長を実現したガーナ。経済格差は大きく北部では貧困層が増加しています。暮らしを少しでも豊かにと北部3州を対象に「社会開発総合プログラム」が行われている。様々なJICAの援助方法を組み合わせたこの取り組みを紹介	アフリカ	ガーナ	日	プロジェクト 社会開発
地-149 2003. 1. 18	新たな交流の船出 ～JICA横浜センター～	2002年9月、JICA横浜国際センターが港町・横浜にオープン。水産分野の協力拠点・神奈川国際水産研修センターと海外移住者支援事業の中心、海外移住センターが統合された。日本で唯一の移住資料館などを備えた新センターを紹介	国内	日本	日	国内事業
地-150 2003. 1. 25	ポリオ撲滅をめざして	ポリオウィルスに感染することによって起こる病気、ポリオ。小児麻痺とも呼ばれるこの病気は、手足などの神経を侵して運動神経麻痺などの後遺症を残したり、死に至る。バングラデシュでポリオ撲滅のために活動をしている2人の青年海外協力隊員の様子を紹介	アジア	バングラデシュ	日	プロジェクト 保健医療

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-151 2003. 2. 1	ベトナムで命はぐくむ ～リプロダクティブ・ヘルス～	「リプロダクティブ・ヘルス」とは、妊娠・不妊・避妊に関する全般に関する健康の権利。ベトナムで行われているリプロダクティブヘルス・プロジェクトの中で、助産師などのスタッフの再教育のために技術協力をしているJICA専門家の活動を紹介	アジア	ベトナム	日	プロジェクト 保健医療
地-152 2003. 1. 8	意志のある所、道は通じる ～ガーナ・アチュア村にて～	1987年に西アフリカ・ガーナへ派遣された1人の青年海外協力隊員。会社を辞めて村落開発普及員としてガーナへ旅立った。しかし、志半ばにしてガーナで死去。15年経った今でも、彼の思いは村人の心の中にしっかりと根づいている。彼の村を紹介	アフリカ	ガーナ	日	協力隊
地-153 2003. 2. 15	安全な水を求めて ～バングラデシュひ素汚染問題～	薬理効果のあるヒ素。しかしそれと同時に強い毒性も持つ。ヒ素は本人の気づかない間に体内に沈殿し、命を奪う恐ろしい物質。アジアの国々では、地下水汚染によるヒ素中毒被害が深刻な問題。ここバングラデシュでは全国の井戸の4分の1がヒ素に汚染されている。その被害から人々を守ろうとする活動をJICAとの協力によって行っているNGOの活動の様子を紹介	アジア	バングラデ シュ	日	専門家 環境

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-154 2003.222	めざせ！スゴ腕職人 ～ベトナム・ハノイ工科短大 機械技術者養成プロジェクト～	近年、著しい経済成長を遂げているベトナム。その中でも工業分野の成長は目覚ましいものがある。しかしこの急成長により慢性的な技能労働者の不足といった問題が起こっている。JICAはこの問題解決のために、行っているプロジェクト「ハノイ工科短期大学機械技術者養成計画」を実施。もの作りの技術を学ぶために真摯な努力を続けているベトナムの若者たちと彼らを指導する先生たち。そして技術移転を行うJICA専門家の活動を紹介	アジア	ベトナム	日	プロジェクト
地-155 2003.3.1	ベトナムと日本の絆を築く ～ハノイ日本語教師～	ベトナムの首都ハノイには、近年の高い経済成長率を反映し高層ビルが立ち並ぶ。日本との貿易も盛んで、街のあちこちに日本企業の看板が掲げられる。将来の日本とベトナムの絆を築くため、青年海外協力隊の日本語教師としてハノイ国家大学に派遣された徳増紀子さんの活躍を紹介	アジア	ベトナム	日	協力隊 教育
地-156 2003.3.8	水の確保は人づくりから ～エチオピア地下水開発・水供給 訓練計画～	エチオピアは、アフリカ大陸東北部「アフリカの角」と呼ばれる一角に位置する。乾燥地帯にまたがり、水不足が慢性的な問題で、84年の大干ばつで100万人が命を落とした。同国の水不足解消を目指し、地下水開発・水供給に携わる技術者を育成するためのJICAのプロジェクトを紹介	アフリカ	エチオピア	日	プロジェクト 環境 開発

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-157 2003. 3. 15	染色が引き出す勇気 ～バングラデシュ～	規律の厳しいイスラム教国・バングラデシュでは、女性の就労や外出が制限されている。女性たちに自宅でもできる染色の技術を伝え、生活向上につなげたいと、青年海外協力隊員、石坂貴美さんと同僚のシリンさんが活動。その活動と、自立を目指して奮闘する女性たちを紹介	アジア	バングラデシュ	日	協力隊

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-158 2003. 3. 22	テレビで伝えるJICAのボランティア活動 ～ブータン人とともに～	ヒマラヤの南、約67万の人が住むブータン王国は、近代に至るまで鎖国に近い政策で独自の文化を守る。4年前に開局したブータン放送では、2002年10月から青年海外協力隊員の協力で日本の活動を伝えるテレビ番組がスタート、番組を通してブータンでのJICAの活動について紹介	アジア	ブータン	日	協力隊
地-159	繋げられる助け合いの輪 NGOの活動 ～ベトナム総合的子どもの栄養改善事業～	ベトナムは、市場経済の導入によって急速に成長を遂げた。その一方で地域が格差大し、北部農村部では乳幼児の栄養不良が問題になっている。日本のNGOセーブ・ザ・チルドレンは、JICAの開発福祉支援事業のパートナーとして乳幼児の食生活の食生活改善プロジェクトを行う。その模様を紹介	アジア	ベトナム	日	NGO
地-160	日本の心を踊りにのせて ～日系社会シニアボランティア～	タンゴやサッカーなどで日本にも馴染み深い南米アルゼンチンには、日本からの移住者や日系人も多く暮らしています。様々な思いを胸に秘め遥かな海を渡った1世、日本を知らない子供や孫たち。そんな彼らに日本舞踊を教えている日系社会シニアボランティア・牧田繁子さんの活動を紹介	中南米	アルゼンチン	日	シニア海外ボランティア
地-161	ペヘレイが運んだ夢 ～アルゼンチン・ペヘレイ増養殖計画～	スペイン語で「魚の王様」を意味するペヘレイは、南米アルゼンチンを代表する魚。減少し高級化しつつあるペヘレイを増すプロジェクトが日本の技術協力によって行われている。今から36年前、祖国日本と結ぶ掛け橋としたいと日本に送られたペヘレイの里帰りさせる試みを紹介	中南米	アルゼンチン	日	プロジェクト

地球家族

管理番号	タイトル	内容	地域	国	言語	事業
地-162	花に賭けるそれぞれの情熱 ～アルゼンチン園芸総合試験場～	アルゼンチンは、南北3200キロに及ぶ複雑な地形から、豊かな自然と多種多様な原生種の花々に恵まれている。その育種栽培を国の産業として根付かせようという試みが、園芸総合試験場で行われている。JICAによる移住者支援から始まり、国全体の農業発展を目指して続くプロジェクトを紹介	中南米	アルゼンチン	日	専門家 水産 プロジェクト
地-163	地球家族 未来の創造をともに～もう一人の 主役～	国内外で働くJICA職員の業務について紹介	国内	日本	日	JICA職員紹介
地-164	世界を駆け巡る国際緊急援助隊				日	緊急援助隊